

平成30年度老人保健健康増進等事業

地域包括ケアの推進に必要な自治体のPDCAサイクルに関する調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

1. 事業実施目的

本調査研究においては、市町村及び都道府県は、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を推進するため、介護保険事業（支援）計画に記載した目標の達成に向けた活動を継続的に改善し、地域マネジメントを実施することが求められていることから、市町村及び都道府県が介護保険事業（支援）計画の進捗管理を行う上で、実践的に活用可能な方法の提示に向けた検討を目的とした。

2. 事業の概要

(1) 第7期介護保険事業計画における自立支援・重度化防止等の取組内容及び目標の調査

第7期介護保険事業（支援）計画における自立支援・重度化防止等の取組内容及び目標として、市町村及び都道府県がどのような内容を設定したのか、厚生労働省に提供された4都道府県における管内保険者の第7期介護保険事業支援計画をもとに、その計画に記載された取組及び目標の分析を行った。

(2) 平成29年度に検討した年度ごとの自己評価シート（様式）の改訂

平成29年度に検討した年度ごとの自己評価シート（様式）について、上記1で行った一部の自治体の自己評価シートへの記載内容の分析結果から得られた課題の類型に基づくシート記載に対する改善のポイントを整理した。

(3) 介護保険事業計画に記載した、サービスの見込み量（計画値）と実績値の乖離の要因分析手法の整理

市町村及び都道府県が第7期介護保険事業（支援）計画におけるサービスの見込み量（計画値）と実績値の乖離の要因分析や仮説検証を行うために、地域包括ケア「見える化」システムが提供するデータ以外に考慮すべき情報について検討し、複合的な要因を視野に入れた介護保険事業の実行管理の方法について、5つの自治体に対し行ったヒアリングをもとに検討・整理した。

3. 事業結果の概要

各自治体で取り組んでいる第7期介護保険事業（支援）計画における自立支援・重度化防止等の取組内容及び目標として設定した内容等を通じて、進捗管理のフローにおいてボトルネックとなる要因の抽出にあたっての課題の類型化を行い、その結果に基づき「取組と目標に対する自己評価シート」の各項目の記載にあたって、留意すべきポイントを整理した。

また平成29年度に検討した年度ごとの自己評価シート（様式）について、同シートへの記載内容の分析結果から得られた課題の類型に基づき整理された、シート記載に対する改善ポイントを踏まえた留意点を提示し、記載の一助となる工夫を行った。

市町村及び都道府県が第7期介護保険事業（支援）計画におけるサービスの見込み量（計画値）に係る進捗管理の方法について整理したうえで、必要な進捗管理の改善に向けた観点について整理した。

以上